

## 夏の健康について

医師 岡

平

原稿の依頼を受けましたが、皆さんの御存知の事ばかり

1. 冷たいものを食べすぎ、飲みすぎない様に

2. 寝冷えをしない様、腹巻きをして

3. 海や川やプールで耳に水を入れない

4. 野山や畑でマムシに注意、咬まれたら吸出してワクチンを

5. 蜂に注意、巣に近づかぬ様、刺されたらアンモニアを

6. 海でクラゲに用心

7. 猛暑には、水分補給と日蔭を

8. 過労を以て休養を

9. 蚊に刺されぬ様

など、数えれば切りがなく、主に鍛錬や遊びによる過失の注意で、このうち

昆虫や動物による障害が半分以上あります。

第三番目の耳に水が入ると障害が起

こるといのですが、これは先ず間違

いが多いので、中耳炎は水が外耳に入

って起こるのではない事が多いからで

す。この事は医師に訊ねて下さい。第

四は毒蛇咬傷でワクチンが理想ですが、かえってワクチンに「当る」ことがあるから医師の指示か治療に一任すること。第五の蜂の件は、美人を好んで刺すと冗談をいう人もいますが別に蜂にはわかりませんが、只よい匂いには過敏で香料や化粧品によって蜂が近づきようですし、アンモニアや小水が絶対的ともいえません。第六はクラゲも年

によって違いますが八月中旬以降に多く海岸に近よってくるらしく、咬まれたら塗布剤がありますがその日は再度泳げないでしよう。

すべて暑い頃の心得ですが、一般に健康は平素からの心掛けて夏に限ったことではありません。只、夏から心身の鍛錬を始めることが意義ある事ではないでしようか。

それから忘れてならないことは夏の海水浴が健康増進に欠くことの出来ないもののように誤っている人がありますが、肌を黒く焼くお方は論外として

皮膚を刺戟して血行を促進し、皮膚病の一種に良い結果をもたらす、オゾンを含む大気が肺や皮膚に良いといった程度のものだそう、むしろ過度の紫外線の照射は皺も増し老化を促進するといえます。

それから睡眠と共に必要なのが水分補給で、熱さのため体の水分は過度に失われ病となります。お腹のいたまぬ程度にジュースやサイダー、ビールをのみましよう。この辺で一杯。では又

大代町に公園を  
下市 田 辺 孝

大代で生まれ、大代で育ち、大代をふるさととして生成発展を願う私たち。その大代に他に比類のないすばらしい資源はないだろうか。

浄土寺の裏手に高台がある。その高台から眺めた景観は、またとない絶景といえよう。大江高山の雄大な山容は極めて重厚であり、その裾野に大代小学校が抱擁されて美しい。遠望すれば三瓶山が、右には中国山地の山々が一望できる。私はこの素晴らしい景観を、大代町の価値ある財産にしたい。高台



を整理して、展望台やその周辺を公園にすれば、私たちのいい場所となる。少年はその素晴らしい景観から大志を抱き、老人は心を和ませ長生きしてもらえ。

私の描く公園は花園公園で、美しい四季の花に囲まれてお弁当が開けられる公園が町の活性化につながると思う。

### 終戦記念日を迎えて

— 思い出・あのとき —



下市 立野 保 雄

南昌は無気味な程の好天気でありました。前日の十四日の昼頃より私達の警備していましたが南昌飛行場の無線は異状なニュースを傍受していました。それが敗戦という打ちのめされた形での終戦となったのです。

真夏の太陽が照りつける異国の土地で、一変して私達は言い様のない不安と、失望が空虚な心の中へ流れ込んで来ました。

でも中国の人々には特別の興奮は見られません。一応の安堵の中にも、国民党と共産党の戦が尚存続していたからでしょう。

中国の終戦は、それから数年後であったでしょう。とにかく戦は終わった。私達は同地点で収容されました。どうした事か当初囲いも監視もない自治的な数ヶ月を過しておりました。

二ヶ月位たった頃でした。元の日本総軍の軍楽隊が収容所を見舞って呉れました。

もう軍歌ではなく「浜辺の歌」とか懐かしい故国の歌でした。そして最後に「再建」と言う曲が演奏されました。それは音楽に知識も理解にも乏しい私ではありましたが、力強いドラムのリズムと、演奏者の真剣な雰囲気はひしひしと胸に迫って来て日本は必ず再建する、再建せねばならない、との感動を覚えたものです。

それから一年、苦勞をし乍ら、ふるさとの地に還り、そして四十年の歲月が流れ、多くの人々の努力と、犠牲の上にはありますが、新生の日本が再建されました。

あの時の音楽、その時の望みが、かなえられた様な気がしております。

### あれから四十年

山田 谷 口 トメヨ

ソ連参戦、それは昨日の事の様に見える。最近日本人孤児が肉親探しの来訪、逢える人、逢えない人、明暗こももです。泣く泣く帰国される方、涙・涙でテレビに見入っています。

私の知人で鹿児島出身の鬼塚夫人は三月の寒い夜の事、二人の兄弟を残して他界されました。兄健一郎君が昨年やっとの思いで父子対面を果され、その後所沢訓練所へ入所された筈、父子六人、故郷での生活、どうか幸せであります様に……。

12

戦とは大変残酷なもの、当時外地に在ったものは家を追われて食なく、右往左往、蟻の如き行列を作ってさすらの旅は果しなく続く、空腹の為、泣き叫ぶ幼な子を叱り乍ら、背中に大きなリュックを背負う母親、次々と落伍してはぐれてゆく子供を必死になんて呼び叫ぶ声、どうしてあげる事も出来ない当時の現状、死者も統出致しました。その頃から孤児として現地に引

き取られて行きました。

あれから四十年、歳月の流れは余りにも速く、取り残された孤児達の肉親探しは考えても困難と思われれます。

又めでたく再会出来たとしても、果して親子で永住出来る所が何処か、日本人であつても現地人の配偶者であり祖国は中国であり現実には酷しいものと思ひます。然し大恩ある中国養父母のお陰を忘れて貰ひ度くないと思ひます。

戦後幾度か死線を越えて来た私共、きつと神仏の加護だつたと思ひます。平和な日本で老後の余生を送らせてもらえる事は、ほんとうに幸せな事と思つています。

### 赤ちゃん誕生

おめでとーうございます



上市 橋本光弘 カズユキ 和幸 君

下市 原田光生 ヒデオ 秀生 君

柿田 岡田部男 ミツオ 満男 君

祥子

8月 少年健全育成指標

健康に気をつけ  
危険から身を守ろう

### 町づくり座談会を ふり返つて

「生き生きした町づくり」をテーマに、地区座談会が去る七月十一日午後約七十人参加のもとに開かれた。

市内で行われている町づくりのスタイド説明などがあつた後、市長のあいさつが有り、

「大田市も現在、小学校の老朽校舎、中学校の統廃合の問題外、行政の酷しい実情」を訴え、今年度とりくみの事業について、公共事業、道路網の整備、過疎・辺地対策事業の効率的実施を行う。柿田線については短期完成を期す。又大代町の生き生き町づくり「都市交流」について大きく成果を期待する、と激励した。

続いて意見交換に入り、下市田辺孝氏より、健康の問題から一般及齒科治療室の誘致を考えて欲しい。

又婦人会の方からは、県道に暗い処が多い。防犯灯の設置を、無料検診の回数は今少し増やして欲しい、高山の登山道に援助を、など、又永井自治会連合会長よりは農村の後継者としての若者の為に職場及び深期な嫁がしを全市的な組織造りを考えて欲しい。又大田桜江線並びに奥部の道路の拡張を希う、外総括的に善処を要望した。

横手PTA会長よりは過疎、学校問題に触れ、都会からUターンして来た若者31人から得た資料をもとに次の様に説得した。

。28名中、13名、学校のない地域には帰る考えがない。

。31名中、12名、子弟を持つものには学校の存続は一番大切だ、など学校存続に強い執着を示した。

その他大田市にも姉妹都市としての交流も考えてはどうか、運動公園としての適切な場所を提案、市政への援助要望が続出、町民の夢や希望がさらけ出された。

市長は夫々の質疑に応答、検討を約し午後四時十五分閉会となった。